

実務経験のある教員による授業科目

経済学部(経済学科・経営学科共通)

	科目名	単位数	内容
1	開発経済論	2	本貿易振興機構で25年勤務し、ベトナムと中国において日本企業の進出支援と現地の産業振興に関わった経験から、日本企業の進出、輸出促進によるアジアの発展経緯を探る。
2	金融論	4	金融庁からゲストスピーカーを招き、金融行政や、金融庁での業務について講義する
3	財政学	4	自治体・各種団体職員等をゲストスピーカーとして招き財政の実情と課題について解説する
4	農業経済学	2	現役の事業者が、農産物流通に重要な役割を果たす生協事業への現状について講義する
5	ロシア経済論	2	現役の実務家を招き、ロシア対外経済関係というテーマで日ロビジネスの現状について説明
6	演習Ⅱ(北川)	4	農山村の活性化問題を学ぶために、現地を訪問し、市役所、地域の関係者から聞き取り等を行う
7	演習Ⅱ(桑原)	4	卒業論文等の執筆にあたり、自治体職員等へのヒアリング調査を行う
8	経営情報論	2	システムエンジニアとしてメーカーで勤務した経験に基づき、情報システム開発のプロセスや情報システム開発のポイントなどを解説する
9	産業デザイン	2	デザイン系シンクタンクに勤務経験のある教員が、その経験を活かして、企業経営や地域振興における戦略的デザイン活用の考え方や方法等について講義する
10	消費者行動論	2	担当教員が関連科目に関する企業での実務経験を有する
11	情報管理論	2	担当教員が企業内で人的要因やモチベーション分析、さらに、それに基づく教育をした経験に基づき、人の情報処理特性を概説するとともに、それに基づいた「情報管理を通じた人の管理」という考え方について説明する。
12	演習Ⅰ(飛田)	4	企業訪問により、人事担当者から話を聞く会を設ける
13	演習Ⅰ(藤野)	4	担当教員が企業内でシステム開発や人を対象とした実験や調査をした経験に基づいて、人を対象とした実験や調査の実施方法の指導を行う
14	演習Ⅱ(飛田)	4	企業訪問により、人事担当者から話を聞く会を設ける
15	演習Ⅱ(藤野)	4	担当教員が企業内でシステム開発や人を対象とした実験や調査をした経験に基づいて、人を対象とした実験や調査の実施方法の指導を行う
16	基礎ゼミ	2	担当教員が企業内で統計処理を活用した人的要因分析やモチベーション分析を実施した経験に基づき、パソコンを用いた統計処理方法についての演習を中心とした講義を行う
17	外書講読Ⅲ	2	担当教員の企業経営、役員の実務経験から主に先端的な米国の英文経済書/経営書を読み、その学習内容を企業経営にどう役立てるべきかを解説する
18	中小企業論Ⅰ	2	中小企業金融公庫(現日本政策金融公庫)での勤務経験を有する教員が中小企業の現状、課題について解説する
19	中小企業論Ⅱ	2	中小企業金融公庫(現日本政策金融公庫)での勤務経験を有する教員が中小企業の現状、課題について解説する
20	特別企画講座A	2	現役の労働組合専従役員がそれぞれの専門に合わせて各回の講義を担当する
21	ビジネス英語	2	本担当教員自らが、長年経験した海外取引や海外現地法人経営者として経験した英文契約、英文コレポン、輸出入書類、プレゼン、商談などの実務を指導する
22	インターンシップ	2	経営者協会で、企業の問題に日頃から接している講師から、企業が求めている人材や、企業で求められる能力などについて、具体的に講義してもらうとともに、民間企業において実習を
23	キャリアデザイン概論Ⅰ	2	本教員はキャリアコンサルタントとして若者の就職支援、企業団体従業員のキャリア形成支援を担当してきた。その経験を活かしキャリアデザインを考える授業を行っている

24	キャリアデザイン概論Ⅱ	2	本教員はキャリアコンサルタントとして若者の就職支援、企業団体従業員のキャリア形成支援を担当してきた。その経験を活かしキャリアデザインを考える授業を行っている
25	キャリアデザイン特論	2	本教員はキャリアコンサルタントとして若者の就職支援、企業団体従業員のキャリア形成支援を担当してきた。その経験を活かしキャリアデザインを考える授業を行っている
26	権利擁護と民法総則	2	本教員は社会福祉協議会で専門員を経験し、法人後見受任組織の構成員である教員が日常生活自立支援事業と成年後見制度について解説する。
	経済学部専門科目 計	68	